

2022年11月28日

【照会先】(直通電話) 03-5207-2456

一般社団法人 日本フィットネス産業協会
専務理事 吉田正昭

検定事務局 統括マネージャー にらさわ 垂沢靖彦

第12回フィットネスクラブ・マネジメント職種技能検定試験における

1級学科試験問題及び模範解答の誤りについて

この度、一般社団法人日本フィットネス産業協会が実施した第12回（2022年11月13日実施）のフィットネスクラブ・マネジメント職種技能検定試験において、1級学科試験問題及び模範解答に誤りがあることが判明したため、次の対応をとりました。

本件は、試験問題及び解答に関する確認等が不十分であったため生じたものであり、関係の皆様にはご迷惑をおかけしたことを、お詫び申し上げます。今後このようなことがないように再発防止策を徹底し、再発防止に努めます。

第12回試験（1級学科試験）

(1) 誤りの内容

下記の1級学科試験 問38は多肢択一法の問題であるが、問題選択肢(a)の「電解次亜生成装置」が何を指すのかが不明瞭であるため、選択肢に正答が存在しない出題であったことから、問題不成立となるもの。

問38 施設の修繕・改修に関する以下の(a)～(d)の記述で、適切な文章の組合せを①～④から一つ選びなさい。

(a)滅菌システムとしては、塩素の自動注入器の導入、電解次亜生成装置の導入も検討に値する。これらは水質を保つ点もあるが、スタッフの作業効率も上がるので省人力運営にもつながる。

(b)ウイルス感染予防のためにも、より一層の換気量確保が必要になってきており、環境負荷低減の観点からも、全熱交換器の重要性が増している。天井に設置する隠蔽型は、これだけでは弱いので全熱交換器と空調機（エアコン）を併設する。

(c)感染予防対策としては、開け閉めしやすい換気窓を設置する強制換気が有効であり、エアコンを必要としない春秋などには活用したい。

(d)施設内になるべくウイルスを持ち込まないために、入口付近に手洗いを設けることも有効である。施設を清潔に保つため、使いやすい場所に衛生設備を設けることを修繕の機会に実施してほしい。

①(a)(b) ②(b)(d) ③(a)(d) ④(c)(d)

(2) 対応

1級学科 問38は問題不成立として、全員正答とし、無解答を含め、全ての解答を正答として採点します。

以上